



NPO法人 北摂子ども文化協会  
Hokusetsu Children Culture Association

VOL  
47

# ハツクルペリー

Huckle Daily

●北摂子ども文化協会事務局  
〒563-0024 池田市鉢塚3丁目4番13号  
TEL:072-761-9245 FAX:072-761-9244  
hokusetsukodomo@wombat.zaq.ne.jp

●北摂子ども文化協会豊能事務所  
〒563-0101 豊能郡豊能町吉川336-1  
TEL:072-738-3435

●北摂子ども文化協会西天満事務所  
〒530-0047 北区西天満3-8-4朝日プラザ西天満101  
TEL:06-6948-5380

Home Page URL <http://hokusetsukodomo.com/> ※検索サイトからは、「北摂子ども」で検索!



2015年8月29日 第14回いけだ夢燈花 ハートフルコンサートin池田市民文化会館

## Contents

もくじ

セカンドサーブ	2・3
子育てエッセイ: やまGの育G日記	4・5
第14回いけだ夢燈花を終えて	6
コラム☆おすすめの本/エッセイ	7
イベント・行事案内/入会案内/編集後記	8

## セカンドサーブ

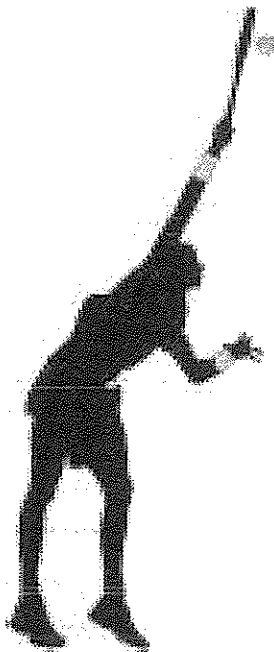
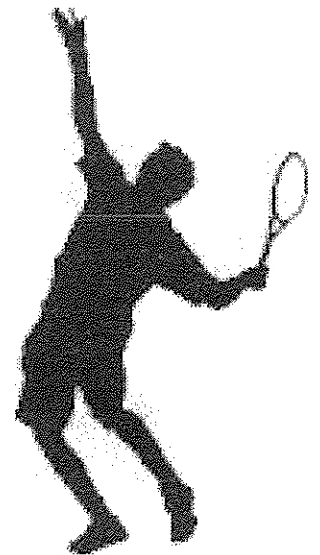
今、プロテニスプレーヤー錦織圭選手の活躍により、日本テニス界が湧いています。勝利するたびに世界ランキングもぐんぐん上昇し、テニスファンでなくても日本中が彼の応援団のような雰囲気です。

期待された全米オープンでは悔しい結果になってしまいましたが、それでもこれまでの数々の大会で手に汗にぎる熱戦を見せてくれた錦織圭選手に、多くの方が拍手を送ったのではないのでしょうか。

テニスの試合会場では、すり鉢状のスタンドから観客たちの熱い視線が選手に向けられます。

テニスではどのプレーも必ずサーブから始まります。男子では時速200キロ以上ものスピードが出るそうですね。まさに渾身のファーストサーブ。

でもテニスでは、そのファーストサーブが失敗しても、セカンドサーブが認められています。このセカンドサーブがあるからこそ、一本目を力いっぱいチャレンジできるのでしょね。このルールは、良くできていると思います。



チャレンジと安定は、子育て支援の極意のように思います。取り組む事業の中で私たちも「やっごらん、チャレンジしてごらん」と子どもたちにけしかけます。

失敗を恐れて尻込みしてしまう子どももいます。でもテニスのサーブのように失敗しても2本目があると分かったら「思いっきり！」ができるのではないのでしょうか。

「次がある」という安心感。

それでは子どもたちが「次がある」と安心できる信頼はどこで生まれるのでしょうか。一番はやはり家庭でしょう。生まれ育った家庭、親、兄弟姉妹、祖父母など家族との絆の中に、その信頼は育まれるでしょう。

学校もそうであって欲しいですね。子どもにとって先生との信頼関係は最も重要です。友だちとの関係も、先生との信頼関係が確立していれば「次がある」信頼が生まれるでしょう。

それでも残念ながら、子どもにとって学校が居場所にならないケースもありますが、そこにもセカンドサーブがあればいいですね。

今、フリースクールや家庭学習を義務教育の制度内に位置付ける法案が、国会への提出にむけ検討されています。学校外での学習を義務教育として認める制度です。時間はかかるかもしれませんが、人々の知恵と熱意は社会におけるさまざまなセカンドサーブを創りだそうとしています。

話は変わりますが、女子フィギュアスケートの浅田真央ちゃんが、競技復帰の意向を示しました。

1年ほど前、彼女自身、悩み苦しんだ末に出された休養宣言かと思いますが、「突っ走るだけでなく、休んでもいいじゃない」というメッセージは子ども・若者・大人たちも、意外だけどほっとした感じを受けたのではないのでしょうか。



そしてこの度の復帰宣言は、見事なセカンドサーブです。がんばれ真央ちゃん、この一年の休養が、真央ちゃんが真央ちゃんらしく奏でるセカンドステージを創り出すのではないのでしょうか。

当協会を含め、子育てに関わる人々が、子どもたちの自己肯定感を育むうえで、このセカンドサーブがある安心感を伝えていきたいと思う今日この頃です。

(理事長・立石美佐子)

## やまGの育G日記 その22 ～男子 三日会わざれば……～

今年の4月、3歳の息子が幼稚園の年少組に入園した。小学2年生の長女もお母さんにべったり子だったが、それに拍車をかけて、息子もお母さんにべったり子である。

僕が息子を誘っても、

「いっしょにお散歩行こうか」 → 「おがあざんがいい～、ぶああああ」

「いっしょにお風呂入ろうか」 → 「おがあざんがいい～、ぐああああ」

「いっしょにお布団行こうか」 → 「おがあざんがいい～、うああああ」

「いっしょにお菓子買いに…」 → 「行こうか」

野蛮な言葉づかいになるが「……てめえ、この野郎」

食欲が勝った時だけ父親の同伴が許され、それ以外は断固拒否である。

父親の僕でさえ、こんな有様なので、幼稚園の入園はおおいに心配した。

入園前に行われた事前面談では、嫁さん同伴にも関わらず、園に入るや否や倒れこみ、釣り上げられた魚のようにピチピチと床を跳ねまわったらしい。嫁さんいわく、「かなり活きがよかった」模様。結局、まともな面談にはならなかったらしいが、ある意味息子をよく知ってもらえたんじゃないだろうか。

そしていよいよ入園式当日。その日は意外や意外、すんなりと入園式用のスーツにお着替えし、「幼稚園楽しみやね～」と聞くと、「いるか組がいいな♪」とわくわくご機嫌の様子だった（いるか組は存在しないのだが…）

幼稚園に着いてからもテンションは高く、顔見知りのお友だちと同じクラスになれたことや先生方がこやかに出迎えてくれたおかげで、なんとか平和は保たれていた。

しかし最後の最後、これから一年間お世話になるクラスメートとの集合写真を撮影するとき事は起こった。カメラに魂を抜かれるとでも思ったのか、「ふんぎいいいい」といきなりのご乱心。「なにか憑依した？」と思うくらいの、ご乱心。

カメラマンが園児を注目させようと持ちこんでいた各種人形などのアイテムはことごとく効果なし。暴れたおす息子のために、何回も撮り直しさせてしまったが、嫁さんが後ろから羽交い絞めにして、何とか集合写真におさまることができた。

後日、親なしの初めての登園日。朝起きてすぐ「幼稚園行かない。ごはん食べない」と早速ゴネだす予想通りの展開。嫁さんがあの手この手でうまくだまぐらかし、園バスの停留所まで連れ出したものの、バスに乗り込むのを断固拒否。

例の「おがあざんがいい～、ばああああ」という抵抗をみせたものの、そこはさすが保育士の先生。まるで漁師さんが大物と記念撮影するかのごとく、ピチピチはねる息子を笑顔で抱えながら、バスに乗り込んでいった。

小学2年生になる娘も入園当初は、しばらく泣きながら通っていたので、息子はいつまで泣き続けるだろうと思っていたら、予想外に3日ほどで泣かずに通園するようになった。

母親がいない状況をどうすることもできんと息子なりに理解し、切り替えたのだろう。1週間後にはニコニコしながらバスに乗り込むようになった。

今では家の中で、幼稚園で覚えた歌を口ずさみ、先生のマネをしてお友だちの点呼をとったりと、幼稚園ライフを楽しめているのがうかがえる。

「男子三日会わざれば刮目して見よ」ということわざがあるが、関西弁で言ういわゆる「あかんたれ（弱虫）」と思っていた息子の意外なたくましさを感じたのである。

## やまGの育G日記 その23 ～クワガタ魔人がやってくる～

最近、寝かしつけをせず、娘と息子の2人だけで寝室に行かせている。それからというもの、子どもたちの寝る時間がどんどん遅くなってきている。寝かしつけをしているときは、夜の7時台に寝ることも多かったが、今では寝室に入ってからごそごそしていることが多く、気が付けば9時10時になることも。

ニヤニヤしながら、トイレ行きたい、お茶飲みたい、人形取りに来たなど何かしら理由を付けては、隣り合う寝室とリビングを行ったり来たり。

僕も小さい頃、遅くまで起きていたい子どもだったので、「早く寝るんやで」と軽く声をかける程度で、あまり強くは言わない。しかし小学校、幼稚園があるため、必ず決まった時間に子どもを起こさないといけない嫁さんは事情が違う。

「いいかげんに寝なさい！ 明日、起きられへんくても知らんで！」

「なかなか寝つけへん時もあるやろうし、眠くなるまでほっといてあげたら？」

「じゃあ、明日子ども起こしてくれんの？ 寝不足で朝グダグダでも面倒見てくれんの？」

「(ですよね～。つまらん人間がつまらんこと言っちゃったね～。早く機嫌なおしてね)」と心の中で謝る。

今後の家族運営を円滑にする為、嫁さんに全面協力することにし、何とか寝かせようと頑張ってみる。方法として決して正解ではないと思うが、てっとりばやく布団にもぐりこませるため、子どもが苦手なもので攻めてみる。

娘も息子も、大の虫嫌い。息子は男の子なのに、なぜかクワガタムシが一番の苦手。

「早く寝ないとクワガタムシのクワガタ魔人がやってくるで」

「来ない！ 来ないったら来ない！」

「そうやって怒ってたら、クワガタ魔人に頭かじられるわ」

「イヤヤ！ かじられない！ かじられない！」

「ほら、クワガタ魔人が来た！」と言い、両手を頭の上に伸ばして、クワガタ魔人の舞いを自作自演する。

「ガシン、ガシン、ガシン♪ クワガタ魔人がやってきた♪ おまえの頭をはさんじゃう♪  
ゴリゴリ、メキメキはさんじゃう♪」

おもいきりお父さんとわかりきっているのに、「魔人、やめて！ 魔人、やめて！」と息子は泣きだしている。

「クワガタ魔人、怖かったやろ？ お父さんと一緒に早く寝ような」と言って落ちつかせ、「こんなんでも本気で怖がるなんて、やっぱりまだ3歳やなあ」と息子の背中をトントンしていると、背中越しにスンスンと涙をこらえる娘の声。

娘は小学2年生なので、別の手を考えなきゃと思っていたが、まさか娘にもクワガタ魔人の効果があるとは。

やがて2人とも落ちついて寝たものの、涙が頬を伝う寝顔に、悪いことしたなあと少し反省。僕も子どもの頃、4歳上の兄によく脅されて泣いていたことを思い出した。もっとも兄の場合はうんざりするほどしつこかったので、心底嫌な思いをしたが…。

子どもがこうやって怖がってくれている期間は、あっという間に過ぎるのだろうと思うと、少し寂しくなるが、子どもが大きくなったときに思い出話として話せるよう、しっかり覚えておこうと思う。

## 「第14回いけだ夢燈花」を終えて…

今回、8月29日（土）、30日（日）に当協会が実施した「第14回いけだ夢燈花」のご報告をさせていただきます。

「いけだ夢燈花」は2001年6月8日に起きた大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件を受け、被害にあわれた児童の冥福を祈るとともに、世界の子どもたちの平和と安全を願い、2002年より毎年8月に実施しています。

事業内容としましては、子どもの平和と安全を祈念し、池田市水月公園内で約1,500個ものろうそくに火を灯し、フラメンコやキッズダンスなどのステージも企画し、地域の子どもの表現の場を設けています。

2004年、当時の池田市教育委員長とのネットワークから宮城県仙台とのご縁ができ、宮城県立光明支援学校を中心に、支援学校の作業実習で作られている手づくりろうそくを頂けるようになりました。

そのつながりから2007年には「みやぎ夢燈花」が仙台市泉区で開催されるようになり、毎年手づくりろうそくを双方贈りあう交流が生まれています。

「いけだ夢燈花」では、地域団体のダイハツ臯月会や鉢塚水月会、ボランティアサークルeggと協働し、またダイハツ工業株式会社、ダイハツ労働組合からは協賛を頂いています。

事業主旨である「子どもの平和と安全」について思いを共有し築くことのできたこのつながりは、事業を進めるうえで大きな活力となっております。

そして今回の「第14回いけだ夢燈花」では、宮城県仙台から荒川知子ファミリーアンサンブルをお招きし、池田市民文化会館小ホールにてハートフルコンサートも開催しました。ハートフルと銘打ったとおり、ファミリーが織りなすフルート・リコーダー・ピアノの音色は心に染み入り、多くの来場者の感動を誘いました。また、コンサートの最後には「スマイル・オブ・チルドレン」と題したスライドショーも上映し、「いけだ夢燈花」の成り立ちや様子、メッセージを発信しました。2日目には昨年の3倍ほどの来場者が水月公園に来られ、1,500個のろうそくに火を灯して頂けました。

例年にも増して多くの方々と思いを共有し、事業を終えることができたと感じています。



(理事・山路知之)

## おすすめの絵本

春に入学や卒業で環境が変わった方も、夏を過ぎ、自分の新しい場所に慣れてお友だちもできたでしょうか。私は小さな頃から人見知りで、ヘンコ。なかなか友だちが作れない子でした。でも、「友だち百人できるかな?」ってタイプの人ばかりでも世の中面白くないやね、なんて。開き直りですね。さて、今回は『ともだち』をテーマに絵本をご紹介します。

### 『おばけがそろそろ』

作と絵 ささきまき 福音館書店

へんでこなオバケが思いがけない場所から登場。オバケ達の名前や登場シーンが面白くて、思わず笑ってしまいます。あなたの家にも遊びましょって誘ってくるかも? 2歳前後から。

### 『ぼんたのじどうはんばいき』

作 加藤ますみ

作 絵 水野 二郎 ひさかたチャイルド

なんでも出てくる自動販売機。作ったのはためきのぼんた。ぼんたは買いに来た動物達にぼんたと葉っぱを欲しい物に変えて出してあげるのです。でも、得意の術でも出せない時はどうしましょうか。超大型絵本もあります。

### 『ともだちやもんな、ぼくら』

くすのきしげのり 作 福田岩緒 絵 えほんの杜

子ども時代にこんな経験をして欲しいなと思います。男子の友情物語。「ええときばかりのともだちとちがうもんな」という言葉が響きます。

### 『まつげの海のひこうせん』

山下明生 作 杉浦範茂 絵 偕成社

友だちと喧嘩して負けた。悔しくて、砂場にひっくりかえっていたら、へんな飛行船が現れて。グラフィックデザイナーでもある杉浦氏の挿絵も素敵。

### 『こぎつねこんとこだぬきぼん』

松野正子 作 二俣 英五郎 絵 童心社

ロングセラーの大型絵本。狐のこんと狸のぼんが友だちになるお話。子どもに先入観を植え付けるのは、大人なのだと改めて感じます。温かいほっこりする作品。長い話ですが絵本好きなお子さんなら飽きずに集中されると思います。

(会員・尾崎望)

## アンペルマンにあってきました

またまた、世界児童・青少年演劇フェスに参加してベルリンに行ってきました。いつもは幼い子どもから中・高生までの演劇が並ぶので、今回もそう思っていたのですが、なんと上演している作品は観客対象が12・3歳以上の作品ばかり。しかも全作品ドイツ語で、ドイツの劇団だから当然ですが。入り口で「ドイツ語のわからない方は真ん中より後ろにお座りください、字幕が出ますから」と言ってますよと、英語のわかる人が教えてくれました。

劇が始まり、出た字幕はなんと英語。これも当たり前か、日本人のための演劇祭じゃないもんね。

必死で字幕を追いかけるが、1行を読み切らないうちに次の字幕に代わり、劇はどんどん進行していく、なんでこんなことに。幼児作品はどこにいけば見られるのと、つぎはぎの英語でたずねてわかったのは、今回の演劇祭は、幼児と赤ちゃん向き作品のフェスティバルといつものアシテジ作品フェスティバルの二つに分かれていて、いつものアシテジ作品は10歳以上の作品が上演されることになっていたということ。

なるほど時代は進むのだ、昨年と同じ事をすると考えていた私がバカだったのだと思い、開き直ってドイツ語の劇を英語字幕付きで脂汗流しながら10本もみてきました。

その作品のほとんどが映像を駆使し、舞台上を撮影している映像と同時進行で劇が進むのです。日本でも小劇場の人がしているけど、まったくレベルがちがうと一緒にいった若者がつぶやいていました。昭和も前半人間の私にはもう別世界です。

面白かったのは歩行者用信号機でした。それは、かつての西ドイツと東ドイツの二種類あって、東ドイツの赤信号は人が両手を広げてストップと言っている形です。この人はアンペルマンと呼ばれ、とても人気があってアンペルマンショップがあり、Tシャツやグッズまで売ってました。なんと日本でもこのアンペルマンショップあるそうです。アンペルマンに通せんぼされると、止まりたくなくなりますよ交差点で。



(人形劇団クラルテ・松本則子)

イベント・行事案内

10月25日(日)

ハロウィンフェスティバル!!

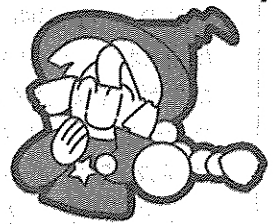
in池田市立水月児童文化センター(072-761-9233 月・火・祝 休)

10:00~12:00

ハロウィン体験☆ドリ=ムバスケット 費用:100円 事前に申し込んでね!!

ハロウィンスイーツポテトづくり★

市内の小学生 先着10名 ※持ち物:三角巾・エプロン・タオル



13:00~16:00

ハロウィン仮装 ~Trick or Treat!~ だれでもさんができます!

仮装をして事務所に来てね!合言葉「トリック・オア・トリート」で記念撮影とお菓子のプレゼント!

13:30~14:30

子ども会議企画 ハロウィンおぼけやしき だれでもさんができます!

小さい子もあそびにきてね!お友だちと一緒にでもOK! ※お菓子のプレゼントあり



会員随時募集中!!

「もっと自分らしく」を合言葉に、北摂子ども文化協会は活動しています。

年会費: ◆正会員(総会議決権あり)	10,000円
◆賛助会員 個人 一口	3,000円
団体 一口	5,000円
法人 一口	10,000円

お問い合わせ・お申し込みはこちらまで

●北摂子ども文化協会事務局

TEL:072-761-9245

FAX:072-761-9244

E-mail:hokusetsukodomo@wombat.zaq.ne.jp



第15期

メンバー募集

ひと山まるごと  
フレイパーク

活動日=10月18日、11月15日  
12月20日、1月17日  
2月14日、3月6日

活動場所=豊能町木代の山  
(原則、現地集合・現地解散)

参加費=12,000円(年間)

※入会時期により変動  
する場合があります。

最近、娘と息子の寝ぞうが悪くて困っています。我が家は家族4人で川の字ならぬ、川の字+1本で寝ています。

基本、嫁さんが一番端で、僕、娘、息子の順番で寝ていますが、娘と息子が次第にジリジリと寄ってきて、とても窮屈に。そのうち息子が時計の針のように回転しだし、娘の顔を足蹴りしたり…。熟睡中に攻撃を受けた娘はもちろん泣きだし、「おがあざ〜ん」と間にいる僕をズリズリ轢きながら嫁さんのところへ。

子どもはどうして寝ぞうが悪いのか不思議に思うが、僕も子どもの頃そんなによくなかったことを思い出す。4歳上の兄はさらに寝ぞうが悪く、寝ぞうを超えて、歩いてた記憶も。巻き寿司のように上布団をくるくる自分に巻き付けていく兄のせいで、よく風邪を引いたなあ。(山)